



特別養護老人ホームみちのく荘

# まるめろ通信

新春特別号

【まるめろ通信 / 第104号】

発行日 / 2015年1月25日  
発行 / 青森社会福祉振興団  
十二林みちのく荘 0175 (23) 1600  
金谷みちのく荘 0175 (23) 0781  
みちのくクリニック 0175 (23) 1171  
城ヶ沢みちのく荘 0175 (24) 3163  
Eメール / marumelo@michinokuso.or.jp

## シンチャオ!! ベトナム滞在記 ベトナムのお正月編

前号でお知らせしたフエ医科薬科大学との介護人材養成プロジェクト調印式から早いもので、もう2ヵ月半が過ぎました。仮事務所ではありますが、フエ事業所も3月の介護人材養成コース開講に向けた準備活動を日々行っています。まるめろ通信では新シリーズ「ベトナム滞在記」にて、皆さんに随時現地の情報をお伝えします。今回は「ベトナムのお正月編」と題して、ベトナム中部地域のお正月の様子についてお届けします。



テト一色で賑わうベトナムの市場、今年もあと3週間ほどでテトがやってきます。

ベトナムでお正月と言えれば、日本のように1月1日の新年ではなく、旧暦に従って祝う旧正月(テト)です。元日の日には毎年変わり、今年は2月19日が旧暦の元日になります。  
ベトナムではテトに向けて約1ヵ月前から、町が正月を迎える雰囲気になります。普段から賑わいをみせる町の市場ですが、物価も上がり、新しい洋服や靴、綺麗な飾り物や、果物などが店先にビッシリと陳列されます。  
また、日本の門松に当たるものとして菊の花や桃・梅の木などを飾る習慣があります。テトの2週間くらい前から町の大通りでは、普段は天秤棒をかついで果物を売るおばあさん達が花屋さんに変わり、威勢よく花を売り歩きはじめます。  
元日の1週間前(旧暦の12月23日)は、「オン・タオ」台所の神様と呼ばれる日です。家族そろって祭壇に食べ物などを供え、お祈りをするので、オン・タオが天界にいるご先祖様に家族の一年の出来事を報告してくれると考えられています。  
そしてその報告を聞いたご先祖様が、子孫とテトと一緒に祝うためにオン・タオと一緒に地上に来てくれると信じられています。オン・タオの日が

来ると、ベトナムの人は皆「いよいよテトがやってきたな」と感じます。  
元日の前後5日間になると、官公庁をはじめ一般企業もテト休みに入ります。職場では大掃除の後で一年間の労を労い、砂糖や味の素、揚げ油など、テトに必要なものを労働組合から配られるのが一般的です。  
元日の4日前くらいからは帰省ラッシュが始まります。両親と離れて生活をする子ども達、大都市に出稼ぎに出ている人、田舎を離れて勉強をする学生などが、抱えきれないほどのお土産を両手に、細長い国ベトナムを南北に大移動して実家を目指します。  
大晦日までにお供え物や儀式も済ませると、いよいよテトです。元日の午前0時には、フエ市のかつて王宮があった場所で、大きな打ち上げ花火が行われます。  
ベトナムには「元日は父、二日目は母、三日目は先生と過ごす」ということわざがあります。元日は近くのお寺で一年の健康を祈願してから実家でゆっくりと過ごし、二日目は母親の実家や親戚の家に足を運び、三日目は友人や会社の同僚、恩師の家を訪問します。また、ベトナムでは年が



バイン・チュン是中国由来のちまきです。

明けて初めて訪れた人を、その年のものとも大切な人として盛大にもてなす習慣があります。  
ベトナムの正月料理は日本のおせち料理と同様に、正月三が日は炊事にとらわれなくてもよいように、保存が効く工夫がされています。その中でも特に欠かせないのが「バイン・チュン」という料理です。  
もち米の層の間に、ペースト状にした蒸した緑豆と脂身の多い豚肉を入れ、バナナの葉で円筒形に包み、12時間ほどかけてじっくりと茹でたものです。完全殺菌された上に、幾重にも重なるバナナの葉が外気との接触を防ぐため、長期保存が可能です。

調理に時間がかかるため、最近では市場ですでに出来上がったものを買ってくる家庭も多くなっています。ゆっくりと茹で上げている間、家族が火を囲み一年の出来事を語り合うというのが、ベトナム人にとっての年末の風物詩となっています。  
またベトナムには、「父の命日は腹をすかし、正月三が日は腹を満たす」という言葉があり、テトに料理は欠かせません。正月を迎えることを「テトを食べる」と表現する人も多いそうです。  
テト休みが残りわずかとなる旧暦1月4日には、正月のために戻って来てくれた先祖を天界へ見送る儀式が行われます。天界での生活に困らないようにと、冥金と言われる擬似貨幣を燃やして見送ります。  
「テトを過ごすために、一年がある。」そう言っても過言ではない、ベトナムの大事な伝統行事です。

(記 / フエ事業所・向井 正太)



イラ・ノファリア Ira Novalia (通称イラさん)  
出身:インドネシア共和国 スマトラ島 / ランブ  
趣味:編み物、インターネット  
好きな食べ物:ドリアン  
今後の抱負:早く仕事に慣れて、皆さんの名前を覚えたい!



ロトゥアニ・ブルバ Rotuani Purba (通称ナニさん)  
出身:インドネシア共和国 スマトラ島 / メダン  
趣味:音楽鑑賞、読書  
好きな食べ物:イカン・アサム・マニス(揚げ魚の甘酢ソースがけ)  
今後の抱負:良い介護士になるため、日本の習慣・文化を勉強したい!

## イラさん! ナニさん! Selamat datang!!

(スラム・ダタン / インドネシア語で「ようこそ」の意味)

2014年12月16日、EPA(経済連携協定)第6陣インドネシア人介護福祉士候補生のイラ・ノファリアさんとロトゥアニ・ブルバさんが、みちのく荘へやってきました。日本語と介護の勉強に日々奮闘している二人を紹介します。



## ベトナム人介護福祉士候補生 パンリンさんのブログページができました!

当法人のホームページに、パンリンさんのブログページが追加されました。日記は月1回更新されます。アクセスされた際は一度のぞいてみてください。



みちのく荘ホームページ  
<http://www.michinokuso.jp>



周子さんは昭和初期、日本で最初の社会福祉学科を卒業された一人です。社会福祉活動を通じてアブドゥル・マジッド・ウスマン氏と知り合いました。(写真左 / ウスマン先生、写真右 / 周子さん)

**ウスマン先生、貴重なお話をありがとうございました!!**  
2014年11月2日(日)、みちのく荘の中山園長が、インドネシアに在住するサルミヤン・マジッド・ウスマン先生のお宅を訪問しました。  
ウスマン先生は、昨年9月に在留邦人最高齢で安倍首相から長寿のお祝いが送られた長田周子さん(インドネシア名「シテイ・アミナ・マジッド・ウスマン」の娘さん)です。生まれはインドネシアですが育ちは日本で、東京の大学で医学を学んだ後、長年産婦人科医として勤務をしていました。  
当法人は海外での新規事業を進めるにあたり、インドネシア国内の医療介護の実情などをウスマン先生からお聞きしていただきました。訪問の際には、ウスマン先生と周子さんから、インドネシア独立運動に携わった父親であるアブドゥル・マジッド・ウスマン氏のお話や、当時の厳しい社会情勢、その中で生きてきた経緯などのお話を聞くことができました。ウスマン先生、貴重なお時間をいただきました。ましてありがとうございます。

社会福祉法人  
青森社会福祉振興団

# 医療・介護ネットワーク2015

http://www.michinokuso.jp

みちのく荘

検索

## 十二林

- ◆ 特別養護老人ホームみちのく荘(定員60名)  
TEL 0175-23-1600 FAX 0175-23-1601
- ◆ みちのく中央デイサービスセンター  
TEL 0175-23-0711 FAX 0175-23-1500
- ◆ グループホームまるめろ(全個室・定員9名)  
TEL 0175-23-0611 FAX 0175-23-1523
- ◆ ケアハウスみちのくグリーンリブ(全個室・定員20名)  
TEL 0175-23-0500 FAX 0175-23-1601
- ◆ みちのくケアプランセンター(居宅介護支援事業所)  
TEL 0175-23-7070 FAX 0175-23-7953
- ◆ むつ市地域包括支援センターみちのく  
TEL 0175-23-7930 FAX 0175-23-7931
- ◆ みちのく訪問介護ステーション  
TEL 0175-23-9100 FAX 0175-23-7953
- ◆ みちのく訪問入浴介護ステーション  
TEL 0175-23-9100 FAX 0175-23-7953
- ◆ みちのくクリニック(内科/リハビリテーション科)  
TEL 0175-23-1171 FAX 0175-23-1172
- ◆ みちのくりハビリテーションセンター(外来/訪問/通所)  
TEL 0175-23-1170 FAX 0175-23-6019
- ◆ みちのく十二林ショートステイ(全個室・定員30名)  
TEL 0175-23-1160 FAX 0175-23-0783
- ◆ みちのく訪問看護ステーション  
TEL 0175-23-6000 FAX 0175-23-6019
- ◆ 関野準一郎記念 まるめろ美術館  
TEL 0175-23-1600 FAX 0175-23-1601



特別養護老人ホームみちのく荘



みちのく荘メディカルケアセンター



関野準一郎記念 まるめろ美術館



みちのくケアプランセンター



特別養護老人ホーム金谷みちのく荘



みちのく金谷デイサービスセンター



住宅型有料老人ホーム城ヶ沢みちのく荘



みちのく城ヶ沢フードセンター



フエ事業所(国立フエ医科薬科大学内)

## 金谷

- ◆ 特別養護老人ホーム金谷みちのく荘(全個室・定員29名)  
TEL 0175-23-0781 FAX 0175-23-0782
- ◆ みちのく金谷ショートステイ(全個室・定員11名)  
TEL 0175-23-0781 FAX 0175-23-0782
- ◆ みちのく金谷デイサービスセンター  
TEL 0175-23-0771 FAX 0175-23-0761
- ◆ みちのく金谷デイサービスセンターまるめろ  
TEL 0175-23-0772 FAX 0175-23-0762

## 城ヶ沢

- ◆ 住宅型有料老人ホーム城ヶ沢みちのく荘(定員24名)  
TEL 0175-24-3163 FAX 0175-24-3169
- ◆ みちのく城ヶ沢フードセンター  
TEL 0175-34-9947 FAX 0175-28-3033

## ベトナム・フエ市

- ◆ フエ事業所(国立フエ医科薬科大学内)

新春おめでとうございます。昨年5月の日本創世会議の推計によれば、地方から大都市への人口流出が現在のペースで続けば2040年には全国の半数の896市区町村が消滅する可能性があるとの衝撃的な数字が公表されました。また、人口減少がもたらす弊害について、真っ先に影響が出るのは社会保障、とりわけ介護サービスの供給が困難になると予想されています。

当法人としては、将来の介護人材不足に伴う、福祉・介護システムの崩壊を防ぐ一助になればと昨年11月にベトナムのフエ市にある国立フエ医科薬科大学との間で「日越医療・福祉事業協定」を締結し、外国での福祉人材の養成に着手しました。今後、国境も国籍も民族も何の隔たりもなく、ホスピタリティ溢れる日本式介護を習得した様々な国籍の若者たちにより、人生における最後の時期を幸せに暮らすためのお手伝いをさせていたいただきたいと考えています。

世界中の一人ひとりが大切にされ、幸福が実感できる社会の到来を願いつつ、これからも福祉事業の推進に心を砕いていきたいと思っています。

本年も宜しくお願ひ申し上げます。  
社会福祉法人青森社会福祉振興団  
理事長 建部玲子

新春の挨拶

やさしい街づくりを応援しています。

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売

有限会社  
**ニツシヨク**  
NISSYOKU

青森県むつ市大曲二丁目13-35  
電話(0175) 22-7222  
FAX(0175) 22-7081

**X-TRAIL**

株式会社 むつ日産

むつ市大字田名部字赤川ノ内並木110-4 TEL. 0175-22-2284

親子でつなぐ郷土のほこり

30周年記念 下北地区子ども会  
**郷土芸能発表会**

平成27年2月1日(日) 13:00開演  
下北文化会館大ホール【入場無料】

主催：下北地区子ども会育成連合会  
(むつ市中央公民館内) ☎24-1224  
下北文化会館

## まるめろ美術館ご案内

開館時間/10:00~16:00  
休館日/水曜・木曜・年末年始

関野準一郎作品  
古事記絵巻と  
舞妓シリーズ展  
開催中

期間/1月5日~3月31日

●来館者の声

「それぞれの作品の景色によって色合いが違って面白かったです。」(20代女性)

「二度目の来館です。めったに見られない貴重な版画を見てよかったです。」(60代女性)

ご意見、ご感想、ありがとうございました。



夕化粧(制作/1986年)

三井住友海上火災保険代理店

株式会社  
**ほけんやの成田**

安心 信頼 笑顔

お気軽にご相談ください!

むつ市新町28-17  
TEL 33-2880 FAX 33-2881

鮮魚・冷凍・塩干加工品・青果  
- 出荷・卸問屋 -

**徳いち** 株式会社

むつ市新町37-2  
TEL 0175-31-0388  
FAX 0175-31-0389

快適な環境づくりのお手伝い

○介護用品のレンタル・販売  
(車いす・ベッド・リハビリ機器他)

○住宅改修

株式会社 **シルバーサービス**

〒035-0033 むつ市横迎町2-9-13  
TEL 0175-22-9511

